

越前名所志 上

内務省圖書  
 第七四四番  
 部.....號  
 三.....冊

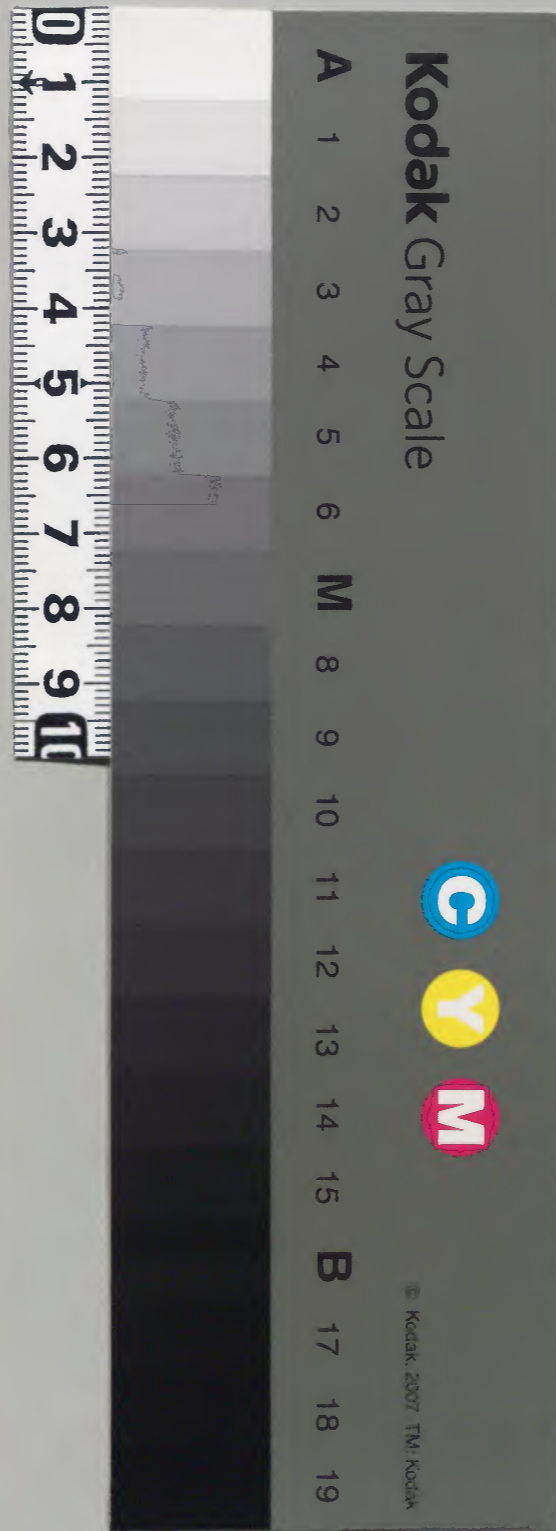
和書門  
 一六五三九  
 二五三九  
 三.....冊  
 架函號類

29  
 内閣文庫  
 一六五三九  
 七五函  
 三冊  
 二架

内閣文庫  
 番號 和 16539  
 冊數 3 ( 1 )  
 函號 175 37

地理  
 乙ノ一

175-37



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



九号二  
七部三十三本

越前名勝志序

明治九年購求

福田文庫

待買堂

越前名勝志序  
芳契子壽菴者竹内氏也少仕本多飛州候其先則  
越前之故家也有故隱河北椎原邑業醫于今四十  
有餘年矣蓋不得志則為醫之遺意也性沉雅不求  
名望寡欲不志勢利州里稱以為避煉丹之暇講群  
書於家塾月夕飄々然陟山岳曳杖尋古跡感慨不  
休行吟古詩曰興亡莫問前朝事河水東流去不歸  
寶永丙戌春詣伊勢經歷五畿内而有旅日記晚季  
歸佛學享保初慕其宗祖遺迹巡禮二十四輩寺著

二十四輩記為後來廻國指南車刊梓行于世間又



有著述號越前名勝志一日示予曰山林草野之言  
雖非君子取一眚聊便好交人為鑑古之楷掾亦博洽  
之一助乎請吾子序之予閱其為書上自五代下至  
當世山海川嶽神社佛閣城地戰場郡縣村落今古  
名號稱呼無地而不載無跡而不記取證於廿一代  
之和歌考事於延喜日本之古記雜以近來諸家之  
說頗補其不足延至俗譚鄙語亦不敢棄粗存以備  
後之批考於是名山列嶽蹤而可到古墳廢地求而  
可獲一閱此書使千里逢迎目下萬古瞭然瞬息加  
焉世以故家摘文實者亦可以得其要歟夫人之俯

仰一世趣舍萬殊靜躁不同欣於所遇倦於所不遇  
感慨因起々而不休則必有言所謂不得其平則鳴  
者是也芳契子之於名勝志也少不得志鬱懊感慨  
不已而成者也嗚呼夫使後人感慨嗟悼者亦將在  
此書乎予固淺學鄙陋雖不足應其需然吾先人泰  
卷以隣鄉之因與之屢遊既雪月於閑窓挑醫論於  
筆陣鄉黨時稱陳雷然則有吾錯之禮豈可固辭以  
勞老人之意哉於是乎序  
元文歲次著雍敦悻仲冬下浣春菴平泉時出書







是スシカアレ厄鄙野ノ老言人ノ信スル也又謬誤  
アラシク又ヲオモヒ曰王天周信ハ世々當國ノ事  
實ヲシレリ周信ニ筆ノ潤色ヲ乞フ而メ全  
備スト云

一 是ヨリ先山城ノ國名勝志トイフアリ題号ハ乃  
チコノ書ニナラヘリソノ文辭ノ鄙陋考按ノ謬  
誤ハ後君子正之者幸甚ナラン乎敢テ此書ヲ以  
テタレリト云ハ非ス

凡例畢

越前國名勝志

芳契子竹内壽菴著

敦賀郡

一 飼飯海

名所方角抄ニ云浦明神ニシテセハツ  
ルカヲ云カ別ノ在所イカ、

万葉集 ケイノ海ノニハヨクアラシカリコモノ  
乱レテ見ユル延虫ノ釣舟人磨 氣比ノ社一宮記ニ  
云或ハ筭飯祭ル神仲哀天皇也 五代一覽 或記ニ  
曰仲哀天皇治天下年帝幸越前角鹿興行宮  
居之謂筭飯宮又云ク神后白王后治十三年祭仲哀



天皇於越前角鹿ノ津崇氣比大明神皇太子拜シマラ  
大明神風土記ニ云ク氣比ノ神宮ハ宇佐同體也  
八幡ハ應神天皇ノ垂跡氣比ノ明神ハ仲哀天皇  
鎮座也ト云々私ニ云社家者ノ云ク氣比大明  
神ト云ハ保食神也ウケモト神代ヨリ此所ニ鎮座ニシメ  
シケルヲ其後仲哀天皇ヲ相殿トナシタルモノナ  
リト云々撰社氣比ノ政所角鹿ノ人也常宮  
神功皇后神階記ニイハク貞觀元年正月廿七日  
從一位神託和論語ニ云ク益人ヨ一念ノヲコラヌ  
カタニアユミヲハコビ常ニ夕ノシメハ遠シト云シ

天ノ心ニヨク叶ヒ吾神明ハツ子ニ友トセリオモ  
フ莫ナカレ

一敦賀昔ハ角鹿ト云人王第十代崇神天白治天  
下廿四年任那ノ國ヨリ額ニ角アル人船ニ乘テ乘  
レリコレヲ角鹿人ト云俗呼ンテ角鹿ト云コノトコロ  
ニト、ニレリ依テトコロノ名トス後世敦賀トイフ  
名所方角抄ニイハク浦濱有之有乳山ノ北ナリ  
道ノ口ヨリ寅ノ方ヘ行ハ越前ノ府ヘユクナリ敦  
賀ハキタヘユクナリ世俗ニツルガ浦ト云ナリ當  
津氣比ノ明神有之社西向ナリ山ハ東ニ有リ



後撰別 我ヲノミ思ヒツルカノ越ナラハ飯ル野

山ハミトハサラマシ

梓弓ツルカノ山ヲ春越テ飯リシ雁ハ

今ソナクナル

宗祇回國記

春ハミタ立ソ飯ラン梓弓ツルガノ浦ノ沖

ツシラナミ

一同所延喜帝ノ時從四位左近將監藤原利仁將  
軍コノトコロニ住居アリテ館ノ有シ事宇治拾遺  
ニ見ヘタリ

一 笠ノ橋敦賀ノ町中ニ有リ

一 金箇崎ノ古城又敦賀ノ城延元元年尊氏戰ニ敗シ氏云尊良親王新田

テ来ル敏景二栗小太郎ト云庶兄孫五郎景總ニ殺サル元龜四年八月

義顯朝倉宗滴教景朝倉伊丹景記朝倉中務大輔

信長ニ七サル

九郎左工門入道伊丹

景恒朝倉權守道景朝倉遠敏景ノ弟孫賀郡司景冬ト云江守同孫四郎

景豊景豊叛大宗負景伏誅

新田方

義照公大谷刑部少輔義隆右此所ニ居城ス

永祿九丙寅九月三日好ニヲソレ朝倉ヲ夕ノミニキタリ居ル



一 矢田野 敦賀ノ西里ツ、キナリニ書ノ古記ニ云ク  
應神天皇ノ皇女ナリ矢田姫ノ御名代カ公望  
私記曰定<sup>ル</sup>御名<sup>ナ</sup>代部<sup>ガ</sup>アルヒハ取<sup>ル</sup>御名<sup>アル</sup>ヒハ取<sup>ル</sup>  
所居ノ地ノ名乎ト云々名所方角抄ニ云ク廣  
野有乳山ノ北ニ道ノ口ト云宿アリソレヨリキタ  
ヘ壹里ハカリユケハ矢田野ナリ敦賀ノ津へ出  
レハ西ナリ

新古今 矢田ノ野ニアサキ色付有乳山山嶺ノア  
ワユキ寒クゾ有ラン  
真葛原ナヒク神風吹カラニ矢田ノ大

野ノ秋ハ千ルニシ 人丸

續後撰 武士ノ矢田野ノ薄ウチナビキ男麻

妻ヨフ秋ハキニケリ 舜

延法師 梓弓矢田野廣野ノ草シケミ分入ル  
玉葉復 人ヤ道ニトフラン

後一位教良○檜川村敦賀ヨリ西ニ有リ金筒  
城ニ一ノ宮新田義貞等籠城ノ暇一旦新左工  
門カ論旨ヲ戴キテ此村ノ嶋崎ヨリ金筒崎  
上遊キツキシト太平記ニ見エタリ○常宮敦  
賀ノ乾ニアタリ海ノ向フニアサ祭レル神 神功



皇后

一 屋鋪跡小松重盛敦賀町ヨリ一里ハカリ申酉ノ  
夕ニ関村歌尚谷山トイフニアリ〇色ノ濱敦賀  
西北ニアタリ濱渚ナリ名所或人ノ云ク常色ノ  
津トイフ津ハコレナリト云々

塩ノ間ニマスウノ小貝ヒロフトテ色ノ濱

トハ云ニヤアラシ

一 道ノ口敦賀ヨリ二里アマリ南ノ海道スシニ有飛鳥  
井采雅ノ道ノ記ニ云ク道ノ口ト申トコロニテタ  
ケフノ府ハイツクナラント覺ヘテ

幾千代モ猶敦葛ノミチノ口絶スユヒ  
心アヒノ風 采雅

一 阿岐師ノ里ミチノ口ノ西ニアタル名所方角抄  
ニ云云字イカ、河内ニ同名有在所不分明

有乳山雪ケノ空ニ成ヌレハアキシノ里  
ニアラレ降リツ

一 足壇ノ城梅野三郎右衛門吉仍下壇民部曳田  
村ヨリ申酉ノ方村ノ山ニアリ

一 有乳山或ハ荒血山曳田ト山中トノ間西ノ方ノ山  
ナリ名所方角抄ニ云山嶺高根近江ニ境タリ海



津ノ宿ヨリ有乳山ハ一里北ナリ京ヨリ丑寅ニ  
アタル

續千載 幾重トハ分テモシラン有乳山雲モ重

ナルミ子ノシテユキ 正三位為實

玉葉 有乳山夕越暮テ矢田ノ野ノ浅茅カ

リシキ今宵カモ子シ 新院

有乳山堂ノ影ヲシルヘニテタトル谷ノ梢サ

リ鬼

有乳山夕日カクレノ浅茅原色付スト

ヤ虫ノ鳴ラン

雲カ、ル有乳ノ山ヲ雁カ子ノ雪ニ

トヒテイカ、キツラン

有乳山嶺ノ風サキタテ、雲ノ行テニ落

ルモミヂバ

采雅道 今朝ハ又瓜モ心ヤ有乳山荒クモ吹ヌ木々ノ下

或人ノ云ク有乳山ニ古ハ神社有シニヤ飛鳥井采雅

ノ道ノ記ニ云リ夜ノ明行程ニ山中ノ宿ヲ立侍レハ

山アイノミサカシキニ西ノ方ニアタリテ鳥井ノ立夕

ルヲ尋子侍レハ爰ヲナンアラ千山ト申ト云々私ニ

云麓ニ義經笈掛ノ松ト云有義經奥州へ下リ玉



フ時笈ヲコノ松ニカケテ懋ヒ玉ヲトコロナリト云々  
又云古ハハコノミチ京ヨリ奥州へ下ル往還也天正ノ  
比カ信長濃州岐阜ニ在城ニ越前ヨリ岐阜へ通  
路ノタノニ柴田修理亮勝家中ノ河内ノ路ヲ作ラセ  
ラルト云々コレヨリ此ミチハ通ル人少シ

一鹽津山私ニ云ク鹽津ト云時ハ近江國ナリ山ハ江越西  
國ニ跨リタルトミヘタリ鹽津山ハ八雲御抄山北兼抄各  
所歌等ニ當國ノ名アリ

万葉集  
瓜雅集  
家コフラシモ  
笠金村

續古今  
知スラン行キニ馴テ塩津山世に經ルミチ

新後撰  
朝ボラケヒカタヲカケテ塩津山吹コス

飛鳥井宋雅ノ道ノ記  
津守國物

嶋ノ海ヤ碓屋ノ煙立ナカラマカス塩津  
ノ浦瓜ソ吹

或神書ニ云ク三関トハ伊勢ノ鈴鹿美濃ノ不破  
越前ノ受祭等是ナリ按スルニ旧典ニ記ス處或  
ハ受祭或愛祭ナリ吾嘗テ受祭ニ扱レリコレヲ



指テ志保津ト謂フ今ノ塩津コトナリ仍淡海ノ國  
ヨリ越前ニ入ルノ古道ナリ以證抑トスヘシ  
或人ノ云ク愛登ヲ訓シテ荒乳ト云フトコノ說字  
訓ニ於テハ則コレヲ得ルニ似クリトイヘトモ地界ニ於  
テハ則疑ラクハ不変特ニ旧典ニ受ノ字多フノ愛  
ノ字十ニ一ニナリト云々私ニ云ク愛登ハアヒバナ  
リ今庄ノ西ニアル合波ノヲナリト云

一 手筈山城跡爪生判官寺田采女朝倉景恒敦賀  
町ヨリ十二三町己午ニ當ル金ヶ崎山ノ續ノ山ナリ  
一 伊部一書ノ古記ニ云ク今ハ細野山食村カ延喜

式ニ云フイベ般石座神社ナリ

一 五幡山 敦賀町ヨリ東南ニアリ名所方角抄ニ

云ク歸山ノチカクナリ

新古今 忘ナン世ニモ越路ノ歸山イツハ夕人ニ

逢ントスラン

伊勢カ

續後拾遺別上

歸山伊津波多秋ト思コシ雲井ノ雁

モ今マ逢見ン

山家隆

一 蕪木浦 敦賀町ヨリ良ノ方ニ當レリ昔金ヶ

崎落城ノ時氣比ノ大宮司太郎東宮ヲ船ニ乘

セ奉リ綱手ヲ己カ横手綱ニ結ヒ付海上三十余



町ヲ游テ葦木ノ浦へ着ケ進ヌルト大平記ニアル  
此トコロナリ又宇治拾遺ニ昔越前カブラキノ渡  
ト云フ所ニ渡リセントテ者共集リタルニ山伏ア  
リケイトウ坊ト云フ熊野御嶽ハ云ニ不及白山  
伯耆ノ大山出雲ノ鷲淵大欣修行レ残シタル所  
ナシ此葦木ノ渡リニ行テ渡ラントスルニ渡レ守聞  
モ入ス漕出スケイトウ坊齒ヲクイ合セ念珠ヲモ  
ミ祈リケルヲ渡シ守見カヘリテ嗚呼ノ夏ト思ヒ  
テ三四町計リ行ヲケイトウ坊見マリ是ヲ砂子  
ニ脛ノ半ハカリ踏入テ目モアカクニラ高テ護法召

返セノシカヘセト祈ル斯云ホトニ瓜モ吹吹此  
方へ寄来一町カ内ニ寄来ルソノ眩ケイトウ坊今  
ハ打返セ々々ト叫叫コノ渡シ船ニ廿余人渡ル者ゾブ  
リト投返シスケイトウ坊汗押拭テニタシラヌカ  
トテ立クルトアリ

一 深山寺 敦賀ヨリ十余町東ニ有泰澄和尚ノ  
歌刻觀音有

一 檜曲村 坂原ノ宿ヨリ西ニアリ新田義貞金ケ  
崎ニ笠籠城ノ時ヨリ瓜生判官保弟義鑑坊後  
詰センカ為ニコノ地へ登向シ是ヨリ道ナクシテ討



死スコノトコロニ今ニ墓アリト云々

一葉原木ノ目峠ノ西ニアリ古記ニミヘタリイハ坂原ト云々

一越ノ中山名所方角抄ニ云有乳山艮ニ木ノ目峠トテ大山ヲ越テ越前ノ府ヘイツルナリコレヲ中山ト云カ東へ行ハ帰ル山アリ木ノ目峠ノツ、キノ山ナリ

厂金ハ帰山ニヤ迷フラン越ノ中山霞ヘタテ、

南條郡

一鉢伏山城跡 安波賀三郎卯牧丹邊守能俊一

揆橋立真宗寺一揆大町専修寺ニツ屋村ヨリ一里ハカリ末ノ方山上ニアリ

一木ノ目峠城跡三度丸山トモイフ堀次郎阿閑洪路守一揆石田西光寺ニツ屋関一所ヨリ東ノ方丸山ニアリ

一海路山今庄ノ宿ヨリ西ノ方十余町ユキテ敦賀

盛衰記  
西経尾東  
ハ鼓ヶ岡

道ニ帰村アリ其上ノ山ヲ云名所方角抄ニ云ク建保歌合ニ帰ノ字ナリコノ山ハ南ノ麓ナリ

古今 別 歸ル山アリト聞ケト春霞夕千ワカレナ  
ハコヒシカルヘシ 紀利貞



新古今

頼テモハルケカルヘキ歸山幾重ノ雲

ノ下ニ侍ラン

賀茂重政

都人歸ル山路ニ跡タヘテ

サカヒシラス秋ノ夕クレ

一 金ノ花トヒ分テ歸山霞モ山嶺ニノホ

ルモノカハ

一 今庄建武延元ノ比コノトコロニ今庄郷ノ法眼久經

日九郎入道淨慶爰ニ在住シテ服屋右工門義助

新田越後守義顯ノ杣山ヨリ金ヶ崎へ通り玉ヒ

ケルヲ支ヘケル由太平記ニ見ユ

一 燧箇城跡木曾義仲ノ一族籠ル今庄村ヨリ三町ハ

カリ己午ノ方山上ニアリ

平家之大將但馬守經政  
當城ニ攻来ル平泉寺ノ長

史齊明ヲ誘ス齊明叛木曾氏  
城拔木曾氏退保川上城  
繁原ノ役生捕齊明干波松浦盛衰記二十八ニ

一 信露貴ノ神社一書ノ古記ニ云牧谷ノ東ノ山中

ニアリ信露貴彦命ナリ今ハ今庄ノ夜又箇池ト云

フト云々或人ノ云ク信露貴ノ社延喜式ニ敦賀郡

トアリ然ルヲ夜又ヶ池ト云フ不審ナリト云々

一 它良谷 慈眼寺曹洞宗當寺開基ハ天真和尚

ナリ是ハ通幻和尚ノ弟子ナリ昔嫉妬深キ女夜

又ト成今庄ノ奥ノ山中ノ池ニ數百年在シニ天真



和尚ノ道德盛シナリシヲヨロコビ女ト化メ来リ哀  
 レミヲ乞シカハ和尚則彼池ノ辺リニ至リ石上ニ坐メ  
 閑示セラレシカハ則夜及ノ姿ヲ脱メ解脱ヲ得タ  
 リ此報謝ニ彼池ヨリ慈眼寺ニ竜燈ヲ擎ケル  
 今モ有ト云リ此故ニ彼池ヲ夜及ガ池ト云リイニ  
 彼池ノ辺ニ坐禅石アリ又天狗松ト云モアリ  
 一牧谷精波ノ宿ノ東ニアリ一書ノ古記ニ云足羽ノ宮  
 ノ伯父<sup>ハ</sup>和加介<sup>ハ</sup>ノ旧跡ナリソノ社ハ今ハ宮谷村ニアリ  
 延喜式ニイフテ氣ノ神社コレナリト云々  
 一杣山精波ノ宿ノ東川向ニアリ名所

新古今 杣山マ梢ニオモル雪折ニ夕ヘ又オケ木ノ身  
 雑上 ヲクタクラン 俊成卿  
 龜山殿 宮木引杣山川ニ波コエテ下スハ早キ五  
 七百首 月雨ノ比 隆長卿

○ 城跡 瓜生判官 服屋義治 斯波臣 増沢甲斐守 祐  
 德朝 倉家河倉 安藝守宗清 阿久和村ヨリ十五町  
 ハカリ 午未ノ方山上ニアリ  
 一 飽和城跡 新田義貞 阿久和村ノ内杣山林ノ下ニアリ  
 一 開箇端 精波ノ宿ノ北海道ナリ一書ノ故記ニ云 茨田



ノ連ノ子開姫ノ跡ナリ私ニ云クコノトコロ開原ト云名  
所ナリ

鶯ノ鳴ツル声ニシキラレテ行モマラレヌ  
開ノ原哉

此歌ヨリシテ鶯ノ關トモ云フカ

- 一 大塩八幡宮 當國中ノ八幡ノ大社ナリ神主瓜生
- 石見守今モ馬場ノ内ニ大鳥居四ヶ所鐘樓拜
- 殿等有之今宿願本ノ間ヨリ八町西ノ方ニアリ
- 一 大道村妙泰寺法花宗當國ニテ法華宗ノ大地
- 古跡ナリ

- 一 太郎浦古ハ池ノ太郎浦トイフ府中ヨリ西ノ浦方ナ
- リ一書ノ古記ニ云ク開姫ノウミ玉フ大娘オウイテツヒメノミヤト白玉女ノ御名
- 代乎

- 一 三代一書ノ古記ニ云ク今ハ三口延喜式ニ曰大山御後
- 坂ノ神社コレナリ

- 一 白崎村亦云ク開姫ノウミ玉フ白坂シラサカイノヒ活姫ノ御代乎
- 一 茶臼山城跡 真田左エ門佐府中ヨリ西下廣瀬邑
- ヨリ十九町ハカリ子ノ方ニアリ
- 一 府中越前ノ府ナリ古ヘ越前ノ国司代々一任四年ノ
- 内コノトコロニ居スト云々其後ハ城主前田又左エ門



尉利家丹羽鍋丸木村常陸助青木記伊守堀尾

帶刀當取本多家代々慶長六越前中納言秀康ノ府家老

武家盛衰記堀尾帶刀吉晴ハ家康公ノ御家人也慶長四年府中ノ城ヲ賜リ入部ノ取池麴麩ノ馭ニテ手ヲ負テ遠州濱松ニ歸ル府中城代ニハ甥ノ宮内少輔ヲコメオク

一同所龍門寺城跡 富田弥六郎一揆三宅権之丞

不破河内守當取ハ龍門寺ノ寺地

一同所新善寺城跡 足利尾張守當取正覺寺ノ

寺地

一同所国分寺 天台宗

一同所龍泉寺 曹洞宗當寺閑基ハ通幻寂雲和尚

ナリ能州拵持寺ノ峨山紹碩和尚ノ弟子ナリ則

拵持寺五塔頭ノ申妙高菴ハ通幻ノ閑基ナリ

越前龍泉寺丹波永沢寺江州拵寧寺コレ通

ノ閑基宅良慈眼寺ノ閑基天真和尚ハ通幻之

弟子ナリ是ヲ通幻派ト云或人物語ニ云ク京都

ニ美麗ノ名ヲ得タル商人高買ノ為ニ丹波ノ国ニ

至リ或山里ノ家ニ入交易セントスソノ家ニ人ナク

穴窈窕ナル少女一人アリテカノ商人ヲ招キ入レテ

レノハシク笑語スソノ詞多クハホマノト云フ彼人

腹アシク過テ少女ヲコロス父母カヘリ来リテ



レヲ倒テ国ノ訶ニテホヤノトイフハ戀慕シタルコ  
トナリシカアレハ我カ娘汝ニフカク執着シタルモ  
ノナリナンギコトバヲシラズシテ如是ナンギハ女ノ  
歎見ナリトテソノイヌヲユヅリアタヘコハニオラシム  
ソノ夜ヨリムスメノ亡魂キタリテカノ男トミウラ  
ヲナラベ契リヲナス一年アマリニシテ或トキ孩鬼  
ノ啼ク声アリ父母アマシテ啼コエヲトメテ是ヲ  
タヅヌルニムスメヲ葬リシトコロニ至リ翌日ハカラ  
ヒラケバ孩鬼アリ父母コレヲマシナヒテノ子家出  
トス通幻コレナリト云々ニタ一説ニイハク通幻和

尚胎内ニ在シトキソノ母佐夜ノ中山ヲ通リシトキ  
浪人ノ侍ニユキアヒケルニ彼ノ浪人ソノ母ヲ切ココ  
シテ逃ウセヌ通幻ハソノ胎内ヨリ出テ不死シテ  
アリケルヲソノ近所ニ住ケル研屋ソノ子ヲ拾ヒ  
トリテマシナヒオキケリソレヨリ廿五年目ニ彼ノ  
浪人右ノ女ヲキリシカヲ研屋ノトコロへ持参シト  
ガヒケルトキムカシ中山ニテワケナキ女ヲ切ケル  
由ヲ懺悔セシヲ彼ノ子倒テ研ヤニソノカヲ乞ケ  
レハスナハチ渡シケルユヘニ其カタナニテ親ノカタ  
キヲウチテ夫ヨリ峨山和尚ノ弟子トナリ名ヲ通



幻ト云ト云々イヅレガ是ナルヤ右ノカタナハ當国

大野ノ城主土井家ニイマニコレアリトゾ

一 小<sup>ウタケ</sup>健山日野山氏日<sup>ヒ</sup>永<sup>ナカ</sup>嶽<sup>ツツ</sup>トモイフ府中ヨリ東南

ニアリ一書ノ古記ニイハク延喜式ニ云フ<sup>ア</sup>鬼<sup>クニ</sup>子ノ神

社コレナリ安閑宣化ニ帝ノ神レイ<sup>シツメニシス</sup>鎮座山ナリ

ト云々アル人ノ云ク国花万葉記ニハ伊<sup>イ</sup>綱<sup>ツ</sup>ヲ祠ト

アリト云々

今立郡

一 目<sup>メ</sup>子<sup>コ</sup>嶽<sup>ツツ</sup>今ハ部<sup>ベ</sup>子<sup>コ</sup>山池田郷ノ東ニアリアル神書

ニイハク目子媛ヲ祭ル山ナリ絶山顛ニ池アリ水際

廣ク平ニ小石碁置シテ五色相映シ一点ノ埃ナシ

ニ夕縦三百六十歩バカリ横十五歩バカリノ平地

アリコレヲ龍馬原トイフト謂ナリト云々

一 廣瀬村 池田郷ノ内ニアリ一書ノ古記ニ云ク

菰田ノ皇<sup>ヒミ</sup>女<sup>メ</sup>ノ母廣<sup>ヒロ</sup>媛<sup>ヒメ</sup>故墟ナリ正六位上ト云々

一 次田一書ノ古記ニ云ク今ハ河和田ノ郷トイフコ

ノムラ<sup>ムラ</sup>刀<sup>タウ</sup>那<sup>ナ</sup>坂<sup>サカ</sup>東刀那<sup>ト</sup>今<sup>イマ</sup>戸<sup>ト</sup>ノ<sup>ノ</sup>口<sup>クチ</sup>ナリ延喜式ニ云フ

刀那ノ神社コノトコロカ次田ハ次田ノ白王女ノ旧跡

ナリソノ神社ハ尾卷村ニアリト云々私ニ云ク戸口

村ト尾花村トハ其間二里ハカリ尾卷村ノ神社ハ



三社ノ森林トイフ

一三嶺ノ城跡 照屋右工門 佐義助平泉寺 衆徒

三嶺村ヨリ五町ばかり 巽ノ方ノ山上ニアリ

一酒井一書ノ古記ニ云クイマハ庄境村ト云々

一朽飯村一書ノ古記ニ云クムカシハクタクカシ河和田

郷内倭姫ノ生ル、九高王ノ神靈ナリ今ハ天皇

ト云リ私ニ云ク土人ノ曰ク八幡宮ナリト云々

一真柄村 府中ヨリ一里半ハカリ東ナリ一書ノ古

記ニ曰ク安閑天皇ヲミカリオホエ勾ミカリ大兄ト云フコノ村ニテ生

レ玉フ旧里ノ名ヲシタハセ玉ヒ大和ニミカリ勾ミカリ金橋ノ宮

ト云々

一城跡 佐々内藏助居ス五分一村ヨリ二町ハカリ北

ノ方ニアリ

一清水頭毫攝寺 三門徒ノ一方ノ本寺ナリ當照閑

基釈善智ナリ京都出雲路ノ毫攝寺ノワカレナ

リ寺ノ額近年勅号ノ宣旨ヲ蒙リ権大僧徒ト

ナリテ青蓮御門跡ノ院家ナリ天子崩御ノ節

諷經贈經等ヲ勤ム

一味真野 府中ヨリ三里ばかり東ニアリ 繼體天

皇潜龍ノ取在ニストコロナリ



万葉集

味真野ニヤトレル君カカヘリコソト

キノムカヘヲイツトカニタン

一 武衛山ノ城跡 斯波美敏居ス余川村ヨリ十

町ハカリ己午ノ方山上ニアリ

一本丸跡 右同居ス池泉村ヨリ巽ノ方武衛

山ノ下ニアリ

一 鞍谷御所ノ跡池泉村ヨリ南ノ方ニアリ足利

義満公ノ次男大納言義副卿ノ御子息右兵卫

佐副俊住居シ玉フ故ニ鞍谷ノ御所トイフ嗣俊

ノ子掃部頭嗣時其子鞍谷刑部太捕副知ニテ

三代 義二居ス

万葉集 鶯ノ鳴クラ谷ノウチハメテヤケハシ

ムトモキミヲシミタン

一 中村一書ノ古記ニ云ク今ハ中津山粟田部ノ内

ナリ延喜式ニ云ク国中ノ神社コレナリ

一 此近辺ヲ粟田部ト云フ定羽ノ宮ヲ男大迹ト

イフノ訛ナリ

一 野大坪村 或神書ニ云ク里人ノ云ク水無瀬川

ノ云ク岸松院ハ昔男大迹ノ皇子遊獵ノ日ハ

必ス御馬ニ飲セ玉フ地ナリト云テ永傳テ以テ

敬畏ト云々



一 瓜生判官館跡 瓜生村ヨリ二町ハカリ巽ノ方

田畑ノ内ニアリ

一 城跡 柴田修理亮勝家中新庄村ヨリ卯ノ方

山下ニアリ

一 松山城跡 樋口次郎居ス新庄村ヨリ十五町子

ノ方ニ山下ニアリ

一 横越 證誠寺三门徒ノ一方ノ本寺ナリ當寺用

基釈道性ナリ俗姓不詳一説ニ道願兵衛ト云

フ者ノ子也ト近年ハ上人号ヲ勅許アルナリ

一 高木村 宗祇廻国記ニアリ

里ノ名ヲナノル高木ノ柳影秋瓜忍フ夕涼哉

一 館跡 樋口次郎一説ニ中村傳右工門尉居ストト中

野内村ノ間西方ニアリ

一 春日山城跡 眩代不知吉谷村ヨリ五町バカリ良ノ

方山下ニアリ

一 忍坂村ヲシサカ 一書ノ古記ニ云ク今ハ乙坂村允恭天皇

ノ皇后タマキミ二侯王キミノ女メ忍坂大オホ中ナカ姫ヒメノ御名代カト云

一 南井村ナカイ 近衛親王御所跡 當村ノ申ノ方ニアリ又

斎藤別當真盛カ旧跡ノ館當村ニアリ久右衛門

ト云者真盛カ子孫ナリトテ館ノ跡ニ禪ノ菴室ヲ



立置コノ内ニ真盛カ位牌モアリ法名覚翁真曰  
大禅定門又守本尊ハ觀音ニシテ是ハ福井養藏  
院ニアリ

一信露貴川一書古記ニ云今白鬼女川繼體天皇  
開三大河治水郡鄉定成ル三大河ノ其一ナリ  
川上ニ信露貴彦命ノ神社アリヨツテ名之ト云  
々アル人ノイハク白鬼女川古ハシラキ川トイヒ橋  
モアリシニヤ宗祇廻國記ト云ル書ニシラキトノ  
橋ニテ讀ル歌アリ

里ノ名モイサシラキトノ橋柱立ヨツトハ

波ゾコタフル

一船津一書ノ古記ニ云ク上齋江ノ宿ニ船津大明神  
ト云フアリ延喜式ニ云ク船津ノ神社コレナリト云々  
一齋江誠照寺 三門徒ノ一方ノ本寺ナリ當寺開基ハ釈如  
覺ナリ横越ノ誠證寺道性ノ門弟トモ云ヒミクハ子  
ナリ凡ソフ近年日光御門跡ノ院家トナリ権僧正ニ  
ナレリ 享保元年ヨリ  
新規間部領之  
一靈地山長泉寺 長泉寺村ニアリ泰澄大師開基  
白山権現ナリ貞元元年二月北叡山ノ慈惠大師  
北国下向ノ砌當山ニ來入有シカ後口ノ山叡岳山四明



ノ巖洞ニ均ク前ノ池ハ湖水ニ似タリト称美有  
リ神社仏閣ヲ修造セラレ自來ノ真影ヲ彫刻  
シテ安置アリ今御手洗ノ上ナル拭作ノ堂是  
ナリ古ヘハ三十二坊アリシカ一揆ノ為ニ退轉シテ  
今ハ上ノ坊中道院ト下ノ坊ト只ニヶ寺ノミ残レリ  
奥ノ院ハ白山権現コノトコロ慈惠大師ノ植玉フ  
櫛シキミ古木今ニアリ又御手洗ノ向ニ昔朝倉左衛門  
督美景ノ息女宗栄慈春比丘尼ノ住シ庵室アリ  
今モ此跡ニ尾寺アリコノホカ西福寺トテ律天台  
ノ寺モアリ

一 水落ノ神明ノ社拜殿鳥居末社數多境内ヒロシ  
丹生郡

一 小野村 一書ノ古記ニ云ク関姫ノウミ玉フ小野稚  
郎ワラウラ女御名代ナトモ云々

一 佐々生村府中ヨリ西ノ方ニアリ亦云ク昔ハサ、ムシ  
今ハサ、フ延喜式ニ云佐々虫ノ神社コレナリ三尾  
君キミノ女メカ倭姫ヤマトヒメノ子ノソノ一ナリ大娘子オホニヤギ椀子ワカ皇子ミコ耳ミミ  
ノ皇子ミコ赤姫アカヒメノ姫ヒメ重ヒコ女メカト云々

一 御庄箇嵩城跡 貳代シレズ當能ヨリ十四五町東ノ  
方ニアリ



一字須美村 一書ノ古記ニ云ク出雲ノ皇女ノ御名  
代カト云アル人ノイハク丹生郡ニ宇須美村ト云  
ハ不見但宇須尾村ノコトカト云々

一厨浦此浦ノ山上ニ城跡アリ足利尾張守高経入  
道々朝ノ息治部太捕美將筥ラレケリト太平  
記ニアル厨ノ城ト云フハ是ナリ元亨釈書ニ三井  
ノ平等院ノ行尊僧正當所越州ノ海濱ニ至テ  
宿ラレシニ其家ノ息女病有テ終ニ相果ケレハ  
父母哀ノ余リニ行尊ニ就テ命ヲ乞ケル故不  
便ニ思ヒ屍ノ側ニ坐シテ祈念既ニ困<sup>ツ</sup>シケレハ亡

女忽ニ獲リシカハ父母大ニ悦ヒ行尊へノ布施ニ  
其地ヲ捨テ進セケル則越<sup>ス</sup>厨ノ浦是ナリ見  
ニ今尚寺院ノ知行一町ナリト有リスハ<sup>下</sup>ヒテ午コノ浦  
之支ナリ

一玉河浦コノウラノ山上ニ岩堀アリ西ハ滄海漫々  
トシテ大磐石ノ切立タル様ナル中間ノ岩穴ノ内ニ  
イニシヘヨリ難觀音ノ靈像西向ニ坐トイヘリ遠  
ク渡海ノ船中ヨリ見レハ遙ニ觀音ノ御像ヲ拜シ  
サセ玉フト云々サレトモ岩壁ノ半腹ヨリ上ノ方  
ナレハ陸ヨリ人倫ノ通路叶ハサルトコロナリ惣ノ



當國ノ中ニテコノ浦ノ辺ハ西ノ方へ指出タルトコロナ  
リ觀音坐ス故ニ昔ヨリ越前御崎ト申スナリ近  
浦ノ者トイヘトモ終ニ拜シタル者ナシ只申傳へ  
タルハカリナリ是人作ノ不及靈仏ナリ

一大味浦法雲寺淨土真宗野之下及高田專修寺  
ノワカレ由緒コレアリ云々

一大丹生浦一書ノ古記ニ云ク延喜式ニ云ク丹生ノ神  
社ナリ應神天皇ノ皇子二<sup>フクニシキミ</sup>候王ナリ

一館跡 多田滿仲ノ末子西天井村ヨリ北ノ方ニコレ  
アリ

一 點川浦 ムカシ源賴朝公ノ敗分ノトコロハ當國  
ノ國司普賢寺ノ攝政基通公ノ所領成シニ武士氏  
國司ノ領ヲ掠メタルニ付建久二年辛亥五月廿三  
日後白川院ヨリ賴朝公へ越前國點川ノ庄武士ノ  
監行可令停止旨院宣ヲ被遺由吾妻鏡十三見  
ユタリ

一 越知山大谷寺天台宗八坊アリ院主ハ大長院ト号ス  
福井ヨリ申ノ方七里アリ  
千載

外山ニハ柴ノ下葉モ散果テ越知ノ高  
根ニ雪降ニケリ 藤原顯綱朝臣



延文百

雨晴ル越知ノ高根ノ雲間ヨリ月ニ先

夕ツ郭公哉

實復卿

元亨ノ釈書ニ云ク釈泰澄姓ハ三神氏越ノ前ノ麻<sub>子</sub>  
生津ノ人父ハ安角母ハ伊野氏夢ミラク白玉懷ニ  
入ルトシテ乃子メル古又アリ白鳳十年六月十一日ニ生  
ル眩ニ白雪降落テ庭宇體々クリ産屋ノ上ニ積ム  
寸余五六歳ニ及ンテ兎輩ニ不交闌闌ニ不遊百戲巷  
衢ニ喧シケレトモ未曾テ出見セス唯泥土ヲ以テ仏像  
ヲツクリ草木ヲ以テ堂宇ヲ構フアルヒハ花水ヲ采テ  
合掌供獻セリ率<sub>フム</sub>子戲娛ニ當ツ持統六年道昭和

尚北地遊化ス適三神氏ニ投ス忽チ小童ヲ見ルニ  
頭ニ日光ヲ現シテ覆フニ宝蓋ヲ以テス昭独見テ  
余ハ見ル又アタハス昭驚テ父母ニ告テ云コノ兎ハ  
神童ナリ敬育ヲクワヘ玉へ眩ニ澄十一歳ナリ十四ノ時  
ノユメニ身蓮臺ニ坐ス傍ラニ沙門有テ語テ曰ク汝知  
ヤ否也我ハコレ汝カ本師ナリ住ハ西方ニアリ汝カ坐  
スルトコロノ蓮ハ觀世音取持ノ華ナリ汝比丘ノ形ヲ  
以テ十一面利生普照ノトクヲ施スヘシト覺フ怪ミ  
ヨロコフツハシンテ人ニ語ラスツノ年ノ冬父兎ヲミ  
ルニ夜々失セリ怪ンテ兄安方ニ語テ曰ク季兎毎



夜ヒソカニ出ツ汝止ルトコロヲ越<sup>ト</sup>ヨ安方オシエ  
ヲ兼テ竊ニ出耽ヲ伺フ身ヲ匿<sup>カク</sup>テ跡ヲ踵テ越  
知峯ノ巖洞ノ中ニイタル弟内ニ入テ礼拝數百  
タカクトナヘテ曰ク南無十一面觀音神変不思議  
者ト言ヒ己ンテ洞ヲ出テ峯頂ニ登ル<sup>ク</sup>曹憲<sup>ラン</sup>峭<sup>サウ</sup>峙<sup>チ</sup>  
ニメ安方昇ル<sup>ル</sup>アタハス返テ洞中ニ宿<sup>ス</sup>遲<sup>ト</sup>明<sup>ト</sup>ハヒニ  
家ニ歸テ父ニ報ス未履ヲ脱<sup>ス</sup>サルニ弟兒飯ル後ニ  
コノ峯ニ棲遲シテ苦修練行自ラ雜髮シテ比丘  
トナル藤皮ヲ衣松葉ヲ食テ修懺年ヲ積ム智解  
ヲ発得シ自然ニ密乘ヲ感悟ス大宝二年小沙弥

アリ能登ノ嶋ヨリ来テ謁ス澄笑ヲ含ンテ云ク相  
需<sup>ニ</sup>フ久シナンヂ其来レリ宜ク給使スヘシト便千鉢  
多羅ヲ付テ守護セシム澄晝夜風雨ヲ不言長  
耽ニ行道礼讚其苦勤殆ント人カノ能スル処ニ非ス  
此沙弥形ノ如クニノ暫クモ離レス常ニ雪裏ニ臥ス澄  
名ケテ臥行者トス容比丘来寓シテ沙弥ニ語テ  
曰ク励勸進趣是ヲ行トス臥ハ怠倦ノ儀ナリ行  
者ト称スルヤ耽ニ沙弥ニ夕臥ス首ヲ挙テ答テ  
曰ク行ニ二種アリ一ニハ身行ニハ心行子論スル  
トコロハ身行ナリ予カ修スルトコロハ心行ナリ



八苦ノ寒爪ニアツテ罪障ノ積雪ニ臥ス阿字  
ノ大空ヲ仰テ大日ノ光照ヲ見ル菩提心ヲ淨メ觀  
慧相應ノ念々増進ス豈ニ心行ノ微趣ニアラス  
ヤ容別テ感歎伏膺ス此沙弥元学業無シテ夕  
午ニ午ニ深旨ヲ吐ク人モツテ異トス沙弥北海  
ノ稅艇ニ逢テ鉢ヲ飛メ供ヲ乞フ率子以テ常  
トス和釘五年羽及ノ官租艇ヲ馳テ過ク沙弥又  
鉢ヲ飛メ米ヲ乞フ艇ノ師神部淨定ノ云クコノ  
官米定數アリ供ニ充ニ不足沙弥山ニ還ル暇ニ  
艇中ノ斛米ノ如ニメ相連テ峰頂ニ飛來ル淨

定未曾有ナリト嘆シテ峰ニ入テ澄ヲ礼メ云ク早  
心貪多シ師ノ淨供ヲ悞ム是官租ナリ願クハ供  
余ヲ還ヘセ澄笑テ曰我カ知ル処ニアラス小沙弥カ  
クメナリ沙弥ニ向ツテ之ヲ謝セヨ淨定教ノ如ク  
ス沙弥ノ曰ク只小供ヲ留ム余ハ尽ク汝ニ還サン  
沙<sup>淨</sup>定カ云ク今此峰壑崎嶇摺疊シ許<sup>ソコ</sup>多ノ米斛争  
テカ運移スヘキ澄ノ曰ク汝只海濱ニ歸テ舟ヲ  
舩シテ待テコノ沙弥能返移スヘシト淨定舩所ニ  
返ル其米前ノ如ク飛還ル淨定コレヲ見テ感激  
轉深シ官輸オハリテ本邦ニ歸ラス山ニ入りテ淨



ニ事ヲ菓ヲ採ル新ヲ拾フテ百役不倦澄名ヲ淨定  
行者トス澄客ニ語テ曰ク沙弥心行者ナリ淨定ハ  
身行者ナリト乃至天平宝字二年越知山ニ歸ル大  
谷仙屈ニ居リソノ山ニ鉅杵ニ似タリ以テ靈域ト  
ナス初大宝二年文武帝伴安ニ勅メ澄ヲ以テ鎮護  
国家ノ法師ト為ル号ヲ神融禅师ト賜フ授ルニ  
禅师位ヲ以ス天平ノ初ニ大和尚位ヲ授ク号ヲ泰  
證トアラタム證奏シテ曰願クハ證ヲ以テ澄ト作  
ンケタシ父ノ諱ヲ忘レストナリ澄ト角トナリ  
和訓隣ニ上同テ龍  
顔潜然タリ乃千号ヲ泰澄和尚ト賜フ澄自ラ

落髮未タ名クルニ暇アラス俗呼テ越ノ大徳トス  
此ニ至テ泰澄ヲ以テ名トス乃至神護景雲元年二  
月書ヲ以テ僕射吉備公ニ与ヘテ帝ヲ辞シテ曰  
将ニ西方還ラントス願クハ膚情ヲ仏乘ニ留  
メ玉ヘト僕射以聞ス帝哀歎シテ親ラ震華ヲ  
灑シテ澄ニ答フ御墨ヲ得テ其徒ニ誡テ曰聖  
筆ノ宝札コレヲ高架ニ置ク忽諸スル莫レ  
三月十八日結跏趺坐足之印ニメ化ス年八十六頂  
ヨリ神光ヲ放ツ山谷金ニ変ス天蓮華ヲ雨  
ス門人遺骨ヲ石函ニ函澄生平眩々ニ頭上ニ



金光ヲ現ス人見ル丁アレハスナハ午隠ル、宿疾  
ノ者鉢飯ヲ喰ヘハ不痊ト云丁靡シ鬼神ヲ驅  
役シテ鳥獸ヲ使セシムト云々アル記ニ云ク大  
長二年奉澄自ヲ草結ンテ峯頂ニ三所ヲ創  
ム第一殿ハ越知娘日天子本地十一面觀音第二殿  
ハ大己貴月天子本地阿弥陀如来第三殿ハ別山大行  
事明星天子本地聖觀音誠ニ是補陀洛ノ淨土ナ  
リト云々又ハ山ノ秋三銘杵ニ似タリ乃三蜜瑜伽ノ大  
法ヲ表ス黃地ハ葉ニ似タリ蓋ハ供諸尊ノ居遊  
ヲ顯ス眼ヲ戴テ峯ヲ仰ケハ本賞ノ月光明朗タリ

耳ヲ峙テ谷ニ臨メハ秘法ノ流水清冽タリ草木  
常ノ草木ニ非ス理知曼荼羅ノ林枝ヲ交ヘ巖壁  
常ノ巖壁ニアラス種子三摩耶ノ苔色ヲ添フ  
大谷ノ仙岨ハ奉澄和尚遺骨ヲ篋ル石塔アリ  
釈迦堂一切経堂等アリ誠ニ諸山ニ秀タル靈  
崖ナリト云々

一 鎖岨山城跡 朝倉家安居郷安田村ヨリ五町ハ  
カリ東ノ方山上ニアリ

一 大木村賀茂下上大明神本社ノ左右ニ白山権現  
牛頭天王ト三社コノ外末社數多有拜殿鐘樓



大鳥居アリ馬場モアリ境内廣ク大枚ノ木ナ  
リ近所セケ村ノ氏神毎年祭礼ニ神輿渡ル  
一天目山城跡 時代シラス當村ヨリ北ノ方山  
ノ下ニアリ

一瀧波村大森ノ馬場ノ北ノカタ三町ハカリニアリ  
大仏ノ五智ノ如来御長五尺ハカリ座像行基  
菩薩ノ作ソノ外毘沙門天觀音地藏モアリ  
別當西德寺天台宗

一荒神箇山領域跡 眩代不知志津ノ庄笹谷村ノ  
内四輪村ヨリ五町ハカリ南ノ方ニアリ

一城跡戸川左工門城有村地之内ニテ五六町四方  
ハカリノ処四方ニ石垣大手口ノ形有福井ヨリ八里  
ニタ當村ニ下<sup>シタ</sup>右工門ト云フ百姓アリ頼朝ノ眩代  
ヨリノ百姓ニテ家モソノ時代ノ家ニテ一丈五尺ニ  
ニ丈七尺ナリ清水ノ井戸アリ當御代々御巡行  
ノ眩節ハ水ヲ指上ルナリ爐ノ火モ頼朝眩代ヨリ  
消ヘスト云々

一城跡 今井四郎兼平三富郷小羽村ヨリ北ノ方  
山ニアリ

一館跡 今館トイフ菅相兼ノ三男乙千代丸吉江口



西番村ヨリ半町ハカリ乾ノ方ニアリ

一 館跡 織田信長公中村ヨリ三町ハカリ東ノ方

田畑ノ内ニアリ一方ハ川三方ハ堀土居ノ故アリ

一 織田大明神 大明神村ニアリ 祝部ハカ 笹川内匠

神職上坂采女別當神前院私ニ云ク織田信長

公ノ先祖ハコノ社家也 神護景雲年中鐘銘有之

一 鳥箇嶽城跡 織田信長公葛野元上糸生村ヨ

リ二町ハカリ北ノ方山上ニアリ私ニ云ク同一所木曾

義仲モ暫ク在城ト云々

一 三日延城 時代不知本保村枝郷糠鍋村ヨリ四

町ハカリ西ノ方山ニアリ

一朝日観音田中郷朝日村ニアリ別當福通寺真言

宗往昔泰澄大師用基ナリ立木ヲソノニ、作り

玉フ御長六尺ハカリ十一面観音ノ立像ナリ殿

刻ノ節朝日照耀トシテ尊像ノ眉间ヲ照ス又

常ノ眩ニコトナルヲ以テ朝日堂ト号シ又其在所

ヲモ朝日邑トイヘリ其ホカ今ニ多聞増長二天

ノ像各長五尺ハカリ又本堂ノ左山上ニハ八幡社

右ニ千手観音ノ堂アリ

一 茶臼山城 時代不知田中郷枋川村ヨリ一町ハ



カリ東ノ方ニアリ

一 尉ヶ嶺城跡 時代シレズ田中郷平井村ヨリ  
三町ハカリ西ノ山上ニアリ

一 天王村牛頭天王 神主 高橋左京本社牛頭天王  
ノ社左右ノ社一方ハ藤民将来一方ハ猿田彦命  
ト天鈿女命云々ソノホカ末社数多アリ拜殿鳥  
居馬場モアリ近衛殿飛鳥井殿ヲ詞ヘル社モア  
リトイフ毎年六月十四日祇園會神輿渡ル  
イマニ退轉ナシムカシ飛鳥井中納言雅縁卿致  
仕ノ後入道有テ宋雅ト云シカコノトコロニテ出

生シ玉ヒケル由ニテ應永卅四年二月廿二日ニ都  
ヲイテ玉ヒテ氏神ナレハコノ天皇ノ社叅シ玉  
フト云々彼ノミチノ記ノ中云クヤウク故郷モ  
千カクナリ侍ルニアノ鳴ハベレハ

時シアレハ我モ今年ハ故郷ニツレテゾ  
飯ル春ノアカ子

同廿九日御社ニ詣テ、コノミ、一七ヶ日叅籠シハ  
ヘルベキナレハ先ツ寶前ニテ御神樂ナトマイ  
ラスル程ニ祈念ノツイテ心中計ノ法樂ニ

幾春モ天照神ノコノカミト現ニシテ



世ヲ守ラン

代々カケテハ雲ノ道ヲ守ルヘキ我神  
垣ニ逢ルカシコサ

鶯ノ巢立ソノニシ古郷ニカヘリアフ身  
ノ春ゾウレシキ

斯テセケ日ノ間寺僧ニ仰テ毎日社叅ノ度コト  
ニ寶前ニテ大般若經ヲ轉讀申テ天下安全御  
運長久万歳々々ト祈念シ奉ルニ初ノ日ヨリ結  
願ノ日ニイタリニテ聊カモ爪雨ノ障モナク殊  
ニ天氣快晴ナレハ神ノ納受モアラハレニケリト

イヨク夕ノモシク覺ヘテ

万代ト我君々ヲ祈ル身ノ心ノ中ハ神モ  
ウクラン

カヤウニトカク日數ヲ経テ飯リ上ルニ殊ニ空ヨ  
ク晴テ日歎長閑ナルニチスガラ海山ノ浪風モ  
治リヌレハ旅人ノ往来迄モヤスキ御代ゾカシ  
トアリガタク覺ヘテ

海山ヲ越行程ゾ浪風ノケニ治マレハ御  
代モ知ル、

イツシカ山里ツ、キヲミレハソコトシモナキ一眇々



ノ花共咲テ誠ノ山櫻ト申ナカラ都ニハ引カヘタル人ノ家居トモノツラカ見ヘハヘル

都ヲハ急クウチニモサスカミタ心ソト  
ニル花ノ下ミチ

此春ハミヤコノ花ヤ恨ムラン遠ク越路  
ノ山廻リレテ

一芝築地山城跡 畑六郎左エ門芝摺城氏云フ田中  
郷乙坂村ヨリ六七町北ノ方山上ニアリ

一石田西光寺今ハ吉江ニアリ浄土真宗開基ハ  
本願寺第七世存如上人

一安居弘祥寺臨濟宗龜山院ノ勅願所朝倉孫  
右エ門廣景康永元壬午年コレヲ造営ス應永  
九壬午十一月廿五日朝倉貞景公方義政公ニ訴  
ヘテ弘祥寺ヲ七刹ノ列トス

足羽郡

一文殊山角原村ノ上ニアリ福井ヨリ巽ノ方二里余  
往昔芥藤加賀守吉信當国押領使タリシ暇建  
立ト云々本堂文殊支利菩薩別山觀音大己貴  
阿弥陀ナリ東ノ麓大村ニ堂薬師阿弥陀十一面  
觀音二五モアリ上坊高甚至山宝取院下坊成就院



コノ両寺一山ノ支配ナリ真言宗

一文殊山 相州鎌倉ヨリ来臨シテ大師堂本尊寸佛法像安弥阿作二王門二王運慶作駒犬堪慶作

高臺山探巖寺 別當上坊宝殊院下坊成就院朝倉家領家之暇分ニテハ十六坊アリ福井ヨリ

巽ノ方

鷹純芳云文言曰  
断故ニコレヲ畧

越ニ来テ富士トマイハン角原ノ文死珠カ嶽ノ雪ノアケホノ

西行

或人ノ云ク俗ニツタヘテイハク

富士見テモ何ニカハセン角原ノ文珠カ嶽

ノ雪ノ曙

ト詠シケレハ老人顯レテ

富士見スハ富士トマイハン角原ノ文珠

カタケノユキノアケホノ

ト詠シナヲシケルトナン老人ハ文珠ノ化身ノヨシ申シツタフ

一 泰澄寺三十八社村ニアリ真言宗越ノ大徳神融  
禪師泰澄和尚ノ住ミ玉ヒシトコロ一軀ノ木像アリスナハチコノ地ニテ生レ玉ヒシトテ産湯ノ水ト  
テイニ池アリ



一 浅水并黒戸ノ橋 福井ヨリ南海道筋二里アリ  
浅水アサムツ或ハアサンズトモ讀ム名一町方角  
抄ニ云黒戸ノ橋細々コレヲ用ヒス名所ナリ世  
俗ニアサフツト云フ処也

浅水ノ橋ハ忍ヒテ渡レト、ロノト鳴ツハ  
ヒシキ

誰ゾコノ子サメテ関ハ浅水ノ黒戸ノ橋  
ヲフミト、ロカス

一 三尾野村 浅水ノ西ニアリ一書ノ古記ニ云ク三  
尾野君ノ遺跡カト云々

一 真野 右ノ近所ナリミタイハク今<sup>ナ</sup>南<sup>グ</sup>居村延  
喜式ニ云真野神社コレナリ三尾野君ノ神靈ナ  
リト云々

一 江守村 貞和年中ニ上牧伊豆守重能昌山大  
内藏少輔直宗コノ所ニ流罪セラレケルヲ八木  
光勝ト云フ者コレヲ預リ後ニコノトコロヲ<sup>縣</sup>賺シ  
出シテ切害シケ由太平記ニアリ

一 城跡 足羽ノ城ト云フ昭代シレス吉田修理下  
屋敷南江守村ノウチニアリ  
一 玉江花堂村 南ノ端ニアル石橋ヲ云フミタ一



説ニ坂井郡三国ノ近所ニアリ今玉江村トテア  
リ是ナリト云々魁所方角抄ニ云クアサフツト  
云フトコロニ江河アリ是ヲ玉江トイフ説アリト  
イカ、可尋津ノ国ニ曰名アリ

後撰  
雜四

玉江コグ芦カリ小艇サシ分テタレヲ誰  
トカ我ニ定メン 讀人不知

新古今  
旅

復カリノ芦ノカリ子モ哀レナリ玉江ノ  
月アケホノ空 俊成卿

秋フカキ玉江ノオクノウキ枕人ハイツ

クニ月ヲミルラン

一赤坂東雲寺

浄土西山派赤坂阿彌陀堂トモ云

フ福井木田ヨリ二町ハカリ本尊阿彌陀如来御丈

一丈余座像也凡ソ當國無双ノ大仏ナリ福井相

忍山安養寺ノ塔頭泰佐ト云フ僧ノ造<sub>レ</sub>ニノ寺

ナリ

一福井木田中野專照寺三门徒ノ一方ノ本寺ナ

リ當寺建立ハソノ説紛紜トシテ知レカタシア

ルヒハ大町專修寺如道上人ノ三男ナリ凡云ヒア

ルヒハ大町專修寺額破ノ節大町助四郎何某

ト云フ者中野村ニ一字ヲ立テコレヲ專照寺ト



云フト云々妙法院御門跡ノ院家ニテ上人号  
ヲ勅許越前念仏ノ大道師タルヘシトノ論旨在  
之

一 黒龍大明神 黒龍川ハ凡ソ北国無双ノ大河ナル  
ユ(何レノ御取ニマ天子ヨリコノ川端ニ水躰黒龍  
王ノ社ヲ祠ヒ玉ヒテ黒龍大神明ト申ケリ此ユヘ  
ニトコロノ名モ黒龍村トイフソレヨリハルカニ程  
経テ福井愛宕山ニウツリ玉ヒテイマニコノトコ  
ロニ鎮座アリムカシノ社地ハ舟橋ヨリ七八町西  
ニアリシカ川欠ト成ケレ氏其近一町イモモ形ハカリ

ノ印ノ石ノコレリ

一 黒龍大明神 栢示江御手洗井有開闢ノ取国土  
護治ノ神トシテ四国ニ四神在シマス

東 常陸 鹿嶋大明神 南 紀伊 熊野大権現

西 安藝 巖嶋大明神 北 越前 黒龍大明神

右四隅ヲ司トラシノ守護シ玉フソノ一神タルノ由  
然ルニ永平ノ頃生地ホノミ長帶宿称灵夢ヲ蒙リ堂社  
伽藍建立セリ示以来神 片時モ 七ヶ之祭  
礼有シカルヲ永祿ノコ口賤火ノタメニ社頭寺宇  
一取ニ廻祿セリ同年速ニ再興有又慶長ニ焼亡ス  
奇ナルカテ神躰飛出フヲ凡慮ノ及フトコロニ



アラス以後ニ夕再營ス

天魔箇池愛宕山ノ内ニアリ大閣秀吉公此木田修理亮勝家ヲ攻玉ヒシ暁本陣トシ玉ヒシハ天魔カ池ノ上ノ山ナリ

一天女山孝顯寺曹洞宗越前一派ノ惣祿福井石場神宮寺町結城家御菩提所ナリユニ慶長六年黃門秀康卿當國御入部ノ節總之下及結城ヨリ令供奉今以テ御菩提所ナリ秀康卿御逝去之節於當寺御葬送アリ御法名孝顯寺殿三品黃門吹毛月珊大居士則御石塔并御影像モ當寺ニ御坐スコノ外安穩寺乘國寺各曹洞宗邊モ結城ヨ

リ御ナリ又華藏寺東光寺各臨此ニケ寺ハ相公忠昌郷ニ供奉シテ越後ヨリ来ル

一園西光寺天台宗右同一所長享三己酉年朝倉孫治郎負景岡保村ニ於テ建立ナリ閑山ハ坂本西教寺真盛上人天正十四年三月北ノ庄へ引移ス寺内ニ柴田勝家山中山城守ト記シタル石ノイカキナリ四尺ニ五尺程モアルヘシソノ中ニ五輪四ツアリ年号法名等磨滅シテ不見草苔露清シテムカシヲ思ヒ出ラレケル鈎鐘アリ銘ニ云ク越前河口ノ庄閑ノ郷于時永正十三丙子三月廿九日大願主藤原朝臣景滿大



工志原山岸兵衛尉家次トアリ

一福井石場一書ノ古記ニ云ク是羽ノ祖母ノ父伊自牟良君ノ御名代カト云々

一足羽ノ社愛宕山ノ内ニアリ祭ル神一座継體天

皇ナリ日本記ニ云ク天皇ハ壯大ニノ士ヲ愛ミ礼テ

賢意豁如也小泊瀬天皇山崩シ玉ヲ繼嗣ナシ元年

正月辛酉朔日甲子大伴金村大連更ニ議リテ曰ク

男大ノ迹王性慈仁孝順天緒ヲ可承曆年史ニ云

ク二十五年ニ山崩シ玉ヲ冬、藍野ノ陵ニ葬ル越前

国足羽明神是ナリ王代一覽ニ云應神天白王五

世ノ孫ナリ應神ノ御子ヲ二派皇子ト云フ其子ヲ

太郎子ト云フソノ子彦主人王ト云フコレ継體之

父ナリト云々年久シク越前ニ位玉ヲ武烈山崩シテ

仁德ノ王孫タヘケレハ大伴金村大連物部麁鹿

火ノ大連巨勢ノ男ノ子等繼體ヲムカヘ奉ル繼

體五度ニテ辞シ玉ハ氏金村シキリニス、ノ申ニ

ヨリテ即位シタニフ恥ニ年五十八都ヲ山城ノ

筒城ニ近シ後又曰キ乙訓ニ近ス後又大和ノ般

余玉穗宮ニ近シ玉ヲ在位二十五年ニシテ山崩ス

歳八十二或ハ在位二十八年トモ云リ文德實録



ニイハク仁壽元年九月正四位上ヲ加フト云々  
一愛宕山大権現ノ社別當松玄院寺号遊樂寺  
天台宗

一善住山一書ノ古記ニ云ク中頃石棺ヲホリイタシ  
クルヲアリ其山ナリ馬ハ耒ダ田ノ皇女ヒメ以来神主ノ  
葬地ナリ

一弓箸ノ社今額ニハ矢箸トアリ福井大橋ノ下  
西ノ方六七町ニアリニ夕云クコレハ足羽ノ宮三太  
河ヲサタメ水徳神ヲ祭リ玉フ役ノコト喝カキ死シヌル弓  
ノ箸ハ一説ニヲ巖ニツキツ、得冷水ト自此酌シ溪カトイ  
矢箸

フ其泉ハイニ鳥越坂ノ下ニアリ此社其西ノ岡ノ  
上ニアリ

一木林巖山浄光院運心寺浄土鎮西派福井石場立  
屋町慶長十二年丁未四月八日越前黄門秀康卿  
御逝去成サルニツキ御菩提所天女山孝顯寺ニ  
テ奉葬送シケリコノ旨駿府江戸上言上アリ  
シニ東照宮上意ニ結城家ハ代々禅宗ノコトナ  
レトモイマハ本姓ニ還テ松平ヲ称号アリシコトナ  
レハ御當家ハ御代々浄土宗ナリサレハ今黄門モ  
浄土宗ニ可改葬スト仰ニヨリテスナハ千上意ヲ



モツテ京都智恩院ノ満誉上人ヲ招請ナサレ  
ラタニ寺院ヲ御建立有今ノ運正寺コレナリ則立  
屋ノ末ノ五三昧ニ於テ改葬ノ茶毗アリテ御法  
名浄光院殿前黄門赤林巖道尉運正大居士ト奉  
称當寺開山ハ萬清和尚ト号ス満誉上人ノ常此系  
弟子ナリ  
衣ノ御菩提一所當國浄土ノ惣祿ナリニタカノ五  
三昧ニモ近年一寺ヲ建立シテ赤林巖寺ト号ス  
一大丹山心月寺曹洞宗右門所開山桃庵禅洞和尚  
朝倉義景ノ先祖朝倉孫右工門尉教景ノ菩提  
寺ナリ教景寛正四年七月十九日享年四歳ニテ卒

去法名心月寺殿

一惣光寺曹洞宗月所石場寺町當國前ノ大守丹羽  
五郎左工門長秀ノ菩提所ナリ長秀ハ天正十三  
乙酉年四月十六日五十一歳ニテ病ニヨツテ自  
殺ナリ惣光寺殿大隣宗徳ト号ス  
一万松山永春寺曹洞宗右門所開山介室令拾和尚  
往昔朝倉下野守貞景ノ次男朝倉遠江守頼景北  
之庄福井ノ始テ居住有シユヘ北之庄遠江守頼  
ト名乗ラルスナハ子頼景ノ法名ヲ永春寺殿ト  
号スソレヨリ代々ノ菩提寺ナリ六代目北ノ庄



土佐守景行ハ天正元年八月十五日於越后口祢坂  
ニ討死ス法名快雲宗俊ト号ス

一 高照山端源寺臨濟派曰所小山谷村ニアリ閑山ハ  
大隨和尚ト号ス前ノ大守探源院吉品君御母堂  
高照院殿ノ為御菩提天和年中アラタニ御造営  
有ソノ後探源院殿ノ御尊體モ當寺ニ葬リリタ  
テニツル

一 足羽川曰所足羽ノ宮三大河ヲ閑キ玉フ其一門  
ナリ水上ハ目子ヶ山嶽ヨリイツル  
一 福井ノ神明朝倉孫右エ門廣景貞和三年  
亥年コ

レヲ造営ス別當 壽福院真言宗 神主 牧田主水

一 福聚山鎮德寺曹洞宗曰所觀音町天正二年ニ當  
國一揆蜂起シテ吉祥山永平寺ヲ破脚スヘシト  
テ大勢押寄ケルニ依テ永平寺十八世祚<sup>ソウ</sup>致<sup>キウ</sup>和尚  
閑山ノ真像ソノ外ノ什物氏ヲ悉クトリ持セテ  
立ノクソノアトニ一揆ノ徒永平寺ノ諸堂仏閣  
ヲコトククマキハラヒ己々カ在所ヘ飯ルコノ  
ユヘニ永平寺シハラク退轉ニオヨヒケリ斯禪  
師ハ夫ヨリ山ツタヒニ北ノ庄ヘタチノキイニ  
鎮德寺ノ地ニ僅ノ寺院ヲ建立有テスナハチ



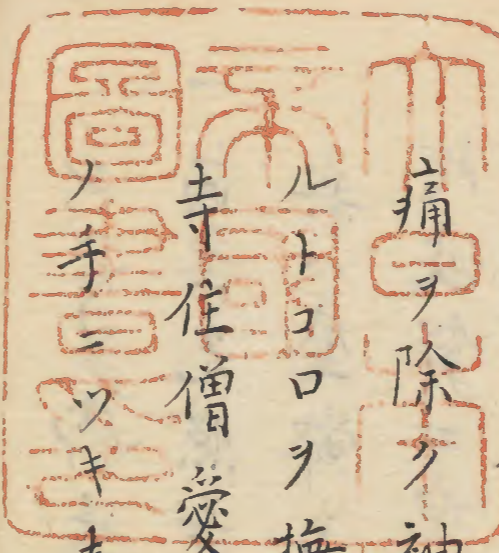
号永平寺ソノ後程ナク織田信長公一揆等ヲ  
征伐アリ柴田修理亮勝家賜當国ヲ國中静謐  
ニ成シ故又志比ノ庄へ立皈リ永平寺ヲ再興  
歸住有今ニテ居住アリシ寺ヲ御弟子祚天和  
尚ニ譲リ寺号ヲアラタメ鎮徳禪寺ト名付ラ  
ル斯テ祚天和尚ハ鎮徳寺二代ナリシカ後ニ  
夕永平寺ニ移ル廿一代目ノ禪師コレ也○又當  
寺ニ大仏ノ十一面千手觀音坐スコレハムカシ  
一乘ノ谷ノ山上ニニシニシケルガイマハコノ寺  
ニ安置シタテニツリ靈驗アラタナルクワシヲ

シナリ御長七尺余ノ坐像ナリ

一西山光照寺 天台律宗円所西山所開基不詳中  
與ハ盛舜上人ナリ往昔ヨリ四頓戒ノ道場ナリ  
阿波賀ニ旧跡アリ本尊ハ慧心ノ作ニシテ弥陀  
ノ尊容スナハ千多田満仲ノ持仏堂ノ本尊ナ  
リ相ツタヘテ云ク満仲ノ季子美丈丸出家トナ  
サシムルニ終ニトク道セス満仲イカリテ仲光  
ニ命シテコレヲ討シム仲光一子ヲ以テ美丈丸  
ノ身カハリトス美丈丸ノ母是ヲシラスシテ  
晝夜憂哭シテ竟ニ兩眼ノ明ヲ失フ常ニコノ



本尊ニ向ヒ念仏スルコトオコタラス或トキ本尊  
 光明ヲハナツテ盲女ノ眼ヲテラシ玉ヘハ卒然  
 トシテ兩眼明ナリ云々ソノ後当寺ノ本尊ソノト  
 ナセシガ何ノ比カ右ノ御指オレテ見ヘス仏エニ  
 命シテコレヲツクリツクト云ヘ氏タヒクオレテ  
 ツシコト全カス阿波賀ニ尼アリヨク呪シテ疾  
 痛ヲ除ク袖中ヨリ木偶人ノ手ヲイダシテ患  
 ルトコロヲ撫テ念佛數篇シテ諸病愈エ光照  
 寺住僧愛庸上人ソノ木偶人ノ手ヲトリテ仏  
 ノ手ニツキ奉ル今ニ數十年オツルコトナシト云々



ミタ此寺ニ足曳ノ弥陀アリコレハムカシ俊乘  
 坊重源大仏再興ニ付諸国勸進ノ砌阿波賀ノ  
 西山光照寺ニ一宿ノトキ来迎ノ弥陀ヲ拜シ  
 直ニ末世ノタメニ彫刻アリシニ来迎ノ弥陀足  
 ヲリ消シカハソノ形ニキサミタル仏躰ナリ縁  
 起アリ又花山ノ法皇ハシメテ西国願礼ノトキ  
 トリ持シ玉フトコロノ鉦シツアリソノフチニ菊  
 相ノ紋アリ大サ指渡シニ寸六七分ハカリナ  
 リ○當寺ノ末寺全龍寺ニ石像ノ十一面觀音  
 アリ御長ニ丈ハカリ坐像ナリ御首クビハ一乘ノ谷



本尊ニ向ヒ念仏スルコトオコタラス或トキ本尊  
光明ヲハナツテ盲女ノ眼ヲテラシ玉ヘハ卒然  
トシテ兩眼明ナリ云々ソノ後当寺ノ本尊ソント  
ナセシガ何ノ比カ右ノ御指オレテ見ヘス仏エニ  
争シテコレヲツクリツクト云ヘ氏タヒクオレテ  
ツシコト全カス阿波賀ニ尼アリヨク呪シテ疾  
痛ヲ除ク袖中ヨリ木偶人ノ手ヲイダシテ患  
ルトコロヲ撫テ念佛數篇シテ諸病愈エ光照  
寺住僧變庸上人ソノ木偶人ノ手ヲトリテ仏  
ノ手ニツキ奉ル今ニ數十年オツルコトナシト云ク



ミタ此寺ニ足曳ノ弥陀アリコレハムカシ俊乘  
坊重源大仏再興ニ付諸国勸進ノ砌阿波賀ノ  
西山光照寺ニ一宿ノトキ来迎ノ弥陀ヲ拜シ  
直ニ末世ノタメニ彫刻アリシニ来迎ノ弥陀足  
ヨリ消シカハソノ形ニキサミタル仏躰ナリ縁  
起アリ又花山ノ法皇ハシメテ西国頌礼ノトキ  
トリ持シ玉フトコロノ鉦<sup>シラ</sup>アリソノフチニ菊  
相ノ紋アリ大サ指渡シ二寸六七分ハカリナ  
リ○當寺ノ末寺全龍寺ニ石像ノ十一面觀  
アリ御長ニ丈ハカリ坐像ナリ御首<sup>カミ</sup>ハ一乘ノ

